

未来を良くするために、お金でできることを考えよう

豊（ゆた）かな海や山を守ること、住みやすい町をつくること、国と国の不平等をなくすこと…

SDGsで目指す未来のゴールにも、色々なものがあります。

みなさんが大人になるころには、どんな未来を実現（じつげん）してたいですか？

未来をつくっていくために、必ず必要になるのがお金です。

私たちの身近にある「お金」が世の中で果たす役割（やくわり）を学び、身近なことから世界のことまで、より良い未来に向けて「新しいお金の使い方」を考えてみましょう。

テーマの背景や社会課題について

「好きなことにお金を使ってみよう」と言われたら、みなさんだったらどんな風に使いますか？
ほしかったおかしや本、食べたいと思っていたものを買ったりすることに使いますか？
お金の使い方には、自分のために使う使い方もあれば、「だれかを助ける」、「世の中の課題を解決する」ために使う使い方もあります。

このテーマ「未来を良くするために、お金でできることを考えよう」では、学校や住んでいる町のことから世界のことまで、世の中にある様々な課題とその解決のために「お金」はどんなことができるのか、みんなで一緒に考えます。お金の役割を学び、知ることで、みなさんのこれからの人生を豊かにしたり、考え方を広げたりもできることでしょう。本テーマへのみなさんの参加をお待ちしています。



みなさんに期待したいこと

みなさんの生活の中で、おこづかいをもってお店にいき、お金をはらって物を買うことがあると思います。では、この「お店にはらった後のお金」はどこへ行き、どう使われるのでしょうか。このテーマでは、「自分にとってのお金」というふだんの目線から少しはなれて、社会の中でお金が果たす役割について、考えていきます。

私たちのお金の使い方は世界の国々に影響をあたえ、これからの未来にも影響をあたえます。SDGsのゴールである2030年には、みなさんも成人である18才に近づいていることと思います。

「みらい総会」で世界の仲間とお互いの経験を伝えあい、未来の大人としてどんな世界を作っていきたいか、考え、行動していただければと思います。

「まだない未来の仕事」を考えよう

α世代のみなさんが大人になる10年後、20年後、世界にはどんな仕事が必要になるでしょうか？

気候変動、教育格差、社会の多様性、AIの進化。

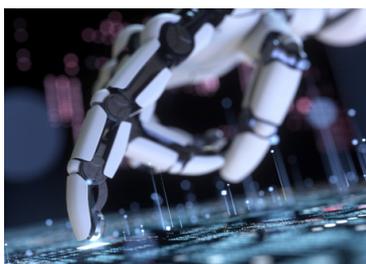
SDGsを手がかりに現代の課題を学び、そこから未来の仕事を考えます。

みなさんで考えた『未来の仕事』で世界中の人々を幸せにする可能性を描きましょう。

テーマの背景や社会課題について

みなさんが大人になるころ、仕事のあり方は大きく変わるでしょう。AIやロボットの進化により、20年後には現在の仕事の約49%がなくなる可能性がある※1とまで言われています。その一方で、AIにはない「人間ならではの力」が働く上でますます重要視され、たとえば、創造力、共感力、コミュニケーション力といった「感情のチカラ」は、どんなに技術が進歩しても完全にAIに置き換えることはできません。仕事の種類や働き方、社会のあり方が大きく変化するにもかかわらず、日本の学生は海外に比べ、進路を決める時期が遅く※2、自分の将来やキャリアのことを考えきれないまま就職活動をはじめめるケースも少なくありません。変化の激しい時代を生きるためには、今から未来の仕事について考え、社会でどう活躍できるかを学ぶことが大切です。

このイベントでは、「未来の仕事」について想像をめぐらすことで、みなさんが「将来のキャリア」について主体的に考えるきっかけを提供します。



みなさんに期待したいこと

20年後の未来には、今はまだない新しい仕事がたくさん生まれているかもしれません。未来の仕事を考えるとき、大切なのは「正解」を探すのではなく、自分の力でユニークなアイデアを生み出すことです。大人では思いつかないような自由な発想が、未来の社会をつくる力になります。

「こんな仕事があったら面白い!」「こんなことを仕事にできるかも?」といった、ワクワクするアイデアをどんどん考えてみてください。

みなさんの発想が、未来の世界をもっと楽しく、もっと豊かにするかもしれません!

※1 2015年野村総合研究所 ニュースリリースより https://www.nri.com/-/media/Corporate/jp/Files/PDF/news/newsrelease/cc/2015/151202_1.pdf

※2 2022年 経済産業省「未来人材ビジョン」より <https://www.meti.go.jp/press/2022/05/20220531001/20220531001-1.pdf>

世界中のみんなが笑顔になれるお菓子を考えよう

世界中のみんなが笑顔になれるお菓子ってどんなお菓子だろう？

世界中の文化や多様性を取り入れ、誰もが嬉しくなる五感で楽しむ未来のお菓子を考えます。

創る楽しさや食べる幸せを広げながら、自分たちの手で、まだ見ぬ新しいお菓子の形を描いてみましょう！

テーマの背景や社会課題について

森永製菓は、1800年代後半に栄養が満たされず、西洋菓子文化もなかった日本に、おいしくて栄養価の高い西洋菓子を提供したいという創業者・森永太一郎の想いから創業しました。

以来、いつの時代もお客様の暮らしの変化に寄り添い、常に新しい価値と感動を創り出すことを目指してきました。

お菓子が届けてきた価値は、栄養補給だけではありません。

ほっと一息つきたい時の気分転換や誰かと一緒に食べる事で生まれる会話や楽しい時間、お菓子を送ることで気持ちを伝えることなど、お菓子を食べた時の情緒的な価値を始めとして、人とのコミュニケーション活性化の価値も届けています。

みなさんにとって、お菓子はどんな存在でしょうか。

私たちは今、五感で楽しむことで、世界中のみんなが笑顔になれるような新しいお菓子を夢見ています。みんなでお菓子に関わる社会課題について考えながら、新しいお菓子の形を共に描いてみましょう！



みなさんに期待したいこと

「世界中のみんなが笑顔になれるお菓子」という夢のようなお菓子がテーマになっていますが、みなさん自身が心からワクワクできるようなお菓子を考えて頂きたいです！

国や文化、言語を超えて笑顔になれるような未来のお菓子。

枠にとらわれることなく、自由な発想で楽しみながら新しいお菓子の形を創り出して頂きたいです！

「お菓子を通して友達ができる」、「お菓子を貰うと元気が出る」など、「食べておいしい」だけではないお菓子が持つ価値を発見して頂けることも楽しみにしています。